

第2次総社市総合計画 実施状況

令和元年10月

総社市総合政策部政策調整課

事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
児童発達支援事業 H28～	1,309	1,340	・療育相談指導教室(総社PEC)実績:H30年度年間28回 延216人利用 ・総合検診実績:H30年度年5回実施 37人受診 ・4歳児発達支援事業実績:H30年度 144人巡回	・療育相談指導教室(総社PEC):8月末現在:延127人利用 ・総合検診:8月末現在:18人受診 ・4歳児発達支援事業:本年度4歳児対象624人に生活状況調査票を実施。市内幼稚園・保育園等32園を随時巡回実施。	そうじゃ式早期一貫サポートシステムの体制が構築されており、心身の発達に特性のある幼児とその保護者に対して、相談支援、生活指導、早期療育等を行うことにより、望ましい発達を促し、二次的に生じてくる障がいの軽減が図れている。年々ニーズが高まり、マンパワーの確保が課題。
子ども家庭総合支援拠点事業 H31～	-	4,102	-	・拠点設置の要件である資格を有する職員配置により、H31.4.1から子ども家庭総合支援拠点設置をし、子育て世代包括支援センターと連携した支援業務を実施している。	・拠点設置の要件である資格が、教育職員免許・社会福祉士・保健師・保育士などと専門資格のみとなっており、職員等の配置を計画的に行う必要がある。
保育所新設助成 H28～H29	-	-	-	-	-

【重点推進施策】 社会保障(高齢者・障がい者など) 満足度 3.3(3.3→) 重要度 4.4(4.3↑)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○独居高齢者の孤立を防ぐ	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	雪舟くん1日平均乗車数	229人 (平成26年度平均)	219人	214人	217人 (R1.8.31)	250人	そうじゃ台帳整備事業 H28～	1,684	1,701	制度の狭間で社会的に孤立している高齢者を市と地域包括支援センター、小地域ケア協議委員等が連携し、そうじゃ台帳登録候補者984名を把握。緊急連絡先等の情報を見守り支援システムに投入し、救急搬送時や行方不明者確認などにも活用している。	9月末時点で984名中633人把握済み(64.3%)新たにそうじゃ高齢者名簿を作成し、民生委員へ「知らない人」へのチェックを依頼。9月末までに返却してもらう。包括には311名の実態把握を依頼している。(8/29依頼)	実態把握や見守りの過程で、緊急連絡先の把握ができていない。見守り支援システムは消防とも連携しているため、情報を活用することで救急搬送時間の短縮につながっている。把握した情報を市民へどう返していくかは検討中。
○高齢者のケア・見守りの強化	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	認知症サポーターの数	2,538人 (H27.3.31)	5,965人	6,718人	6,983人 (R1.8月末)	6,000人	高齢者世帯配食サービス事業 H29～	9,607	12,397	・地区給食サービスは、食事の確保だけでなく地区民生委員等によるひとり暮らし高齢者の見守り活動としての意味も大きい。(H30 9.235食) ・高齢者給食サービス事業では、弁当を手渡しすることで安否確認や孤独感を解消する一助となっている。またケアマネや栄養士による食生活のアセスメントや栄養相談を行うことで、低栄養防止に繋がっている。(一月あたり約1,800食利用者約120人)	・地区給食は継続実施。 ・管理栄養士は5月～不在。ケアマネが行ったアセスメント表を職員が確認している。 ・参入希望の事業所も2～3あり次年度に向けて調整中。	・2つの事業ともに安否確認と栄養確保につながっている。 ・高齢者が増加しているため地区給食の対象年齢を見直す必要性が出てきている。 ・新たな参入事業所に対応できるように次年度に向けて準備が必要。
○雪舟くんの利便性強化	3.2 (3.2→)	4.3 (4.1↑)	いきいき百歳体操の実参加者数	1,925人 (H27.3.31)	2,171人	2,189人	1,678人 (R1.8月末)	2,800人	生活支援体制整備事業 H28～	20,581	20,682	協議体・生活支援コーディネーター・地域包括支援センターを中心に多様な主体による生活支援体制の整備を行った。	今年度は「移動」の課題解決に向けて協議している。 12月に移動と居場所をテーマにワークショップ開催予定	・整備事業開始4年目となり、課題の検討を続けてきたが具体的な成果が求められている。
○切れ目のない介護と医療体制をつくる	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)							高齢者住宅等手すり・段差解消支援事業 H28～	1,597	2,000	助成件数 22件	13件申請(R1.8月末)	・助成利用者の介護予防の効果の評価はできていない。
○障がい者の支援の充実	3.1 (3.2↓)	4.3 (4.2↑)							認知症対策事業 H29～ 認知症カフェ、ココソコム	3,882	5,943	認知症地域支援推進員を中心に認知症の人やその家族を支援する相談業務等を実施。 認知症カフェを開設する団体等に助成金を交付した(H30年度:1団体)。	新規事業として認知症事故救済制度開始。推進員・包括を中心にサポーター養成講座実施。全小学校で開催予定。 カフェは2ヶ所申請・助成決定(R1.8月末) 11月に市内15か所でSOS声かけ訓練開催予定 12月に若年性認知症高齢者講演会開催予定(県大会場) VR体験会2回実施 認知症初期集中支援チーム対応件数なし	・新規事業によりSOSメールの本人登録が増えた。 ・認知症初期集中支援チームのあり方は検討中。
○元気でいきいき！健康寿命を延ばす	3.3 (3.3→)	4.1 (4.1→)							新生活交通「雪舟くん」の利便性向上 H28～ H30～ 午前便の増便本格運用	68,051	71,827	午前便(予約の多い時間帯の応援)の増便を本格運用	今年度4月から利用登録を電話でできるようにし、市ホームページへ予約状況を掲載している。また、運転免許証を自主返納した方に対し、雪舟くんの無料利用券を30枚交付していたものを、今年度6月からは50枚に増加し、自動車の運転に不安がある方が自主返納をしやすようにしている。	市民アンケートでは「土日でも運行して欲しい」、「到着時間が読めない」、「予約が取れない」など、改善を求める意見がある。
									“歩得”健康商品券事業 H30～	24,094	42,924	平均8,000歩以上で月額医療費約3,000円減、平均5,000歩以上で月額医療費約1,000円減。非参加者と比較し、BMI上昇の抑制、HbA1c減少等がみられた。	参加者は3,285名。4～8月までの1日平均歩数は、8,030歩と目標歩数を超えている。参加者が飽きないようイベント等を実施するとともに、データ送信がないものについては、電話にて継続フォロー実施。	参加者全体平均歩数を目標8,000歩とし、国保加入者の医療費や健診結果で分析。国保以外の被保険者のデータがないため、分析が一部しかできない。
									郵送型健診(スマホdeドック) H28～	605	1,481	若年世代(20～39歳)の定期的な健康チェックで、早期治療や生活習慣改善。40歳からの特定健診受診へつながっている。	20～39歳の総社市国民健康保険加入者約1600人へ7月に案内を個人通知。1月末まで随時申し込む。昨年度受診者には、経年結果表を同封し、個人の健康管理に活用。	申し込み方法を検討する必要がある。(スマホやパソコンからの事前アンケートの入力を簡略化する。紙媒体で簡単に申し込める等)

事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
権利擁護事業 H28～	8176	8,176	権利擁護センター“しえん”の設置運営を行い、虐待防止対策事業、成年後見支援事業、入院・入居支援事業、犯罪被害者支援事業を実施。権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に運営委員会の年4回開催。個別事例の支援調整等のための支援検討委員会を年10回開催。権利擁護の課題解決のためのWGを4回開催。	4月には県内初となる成年後見制度の中核機関の名乗りをあげ、よりいっそうの支援を行っている。今後の受任調整の仕組みや中核機関の体制整備について検討するため新たに「中核機関体制整備WG」を設置予定。	中核機関として求められている機能のうち、従来の権利擁護センターの動きで賄える部分と、賄えていない部分について精査し、今後中核機関として活動するにあたり体制整備を検討する必要あり。受任者調整について、タイムリーなしくみ、後見人候補者選定のルール作りなど。
健診(検診)の充実 H29	—	—	—	—	—
H28 地域医療介護総合確保基金事業	—	—	—	—	—
～H28 地域集会所建設費補助金	—	—	—	—	—
H28 地域医療体制整備事業	—	—	—	—	—
～H28 いきいき百歳体操啓発・推進	—	—	—	—	—
健診(検診)の充実 H29	—	—	—	—	—

【重点推進施策】 住宅・生活基盤 満足度 3.6(3.6→) 重要度 4.2(4.2→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値							R2目標値
○吉備線をもっと便利に	3.0 (3.0→)	3.9 (3.9→)	宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	1,489ha	(都市計画基礎調査後に 数値確定)		1,505ha	0	28,000	線越事業	基本計画の策定に向け三者協議中。地域づくり協議会17地区の内、15地区と意見交換会を実施。	三者協議の難航。市民の合意形成を図ること。アクセス道路、駅前広場の検討や既存駅や新駅への2次交通の整備が必要。	
○市街化区域の再活性化	3.0 (3.0→)	3.9 (4.0↓)	統一されたデザインによる街路灯の設置	—	34基	70基	70基	80基	9,936	—	詳細設計をもとに、踏切線形についてはJR・井原鉄道・交通規制課とほぼ合意に至っている。延長・幅員:L=20m W=5.0(9.2)m	令和3年度の委託工事に向けて、用地処理ほか関係部署と調整中である。これらの調整でき次第、地元協議を行う予定である。	委託工事の協定締結に当たり、JRから、鉄道施設内の用地買収、さらに、ほかの踏切道の廃止の検討を求められている。	
○夜間ピカピカ大作戦	3.0 (2.9↑)	4.1 (4.1→)							14,817	24,380	中央井手本線街路灯設置業務(美装化街路灯20基、街路灯17基) 国道180号外街路灯設置業務(街路灯248基)	中央井手本線外街路灯設置業務(美装化街路灯53基、街路灯53基)を実施中である。		
○南北道を始めた道路整備	3.1 (3.1→)	3.8 (3.9↓)							37,589	100,000	地域力再生事業(道路整備等) H30～H32	地域の生活道や水路について、小規模修繕や舗装工事を実施した。	土木担当要望を基に各地域の小規模修繕を順次実施している。	地域力再生事業が周知されたことで、予算額以上に地元からの要望が増加しており、時間的な予算措置(H30～R2)が終了した後の修繕対応が苦慮される。
○生活道を抜本的に改善(地域力再生)	2.9	4.1							46,807	242,770	刑部三須線整備事業 H28～	用地補償5件、物件移転補償3件完了	用地補償3件、物件移転補償4件の契約完了。道路築造(L=109.5m、W=16.0m)を施工中。東総社中原線との交差点について警察との協議継続中。	東総社中原線との交差点について地元調整、警察との協議が必要。協議結果により迂回路が必要となる可能性。
									14,191	40,564	上原富原線改良事業 H29～	用地測量、物件調査が完了し、用地・補償の整理はできている。延長・幅員:L=593.0m W=5.0m	物件移転補償契約が完了し、山本石油～消防機庫区間ほかの拡幅工事を行う。施工・延長L=317.2m、W=4.4～5.0m 工期:R1.7.26～R2.3.31	物件移転と道路工事の調整。道路線形の地元設計協議、そのほか上原井領との協議が必要。
									—	5,000	(仮称)福井支線3467号道改良事業 H29～	国交省、交通規制課との設計協議を行った。	国交省、交通規制課に加え、地元との設計協議を始めている。	当該路線の事業着手については、近接する交差点(R180号総社バイパスと北宮福井本線交差点)の処理について、地元ほか関係部署との十分な調整が必要である。
									—	15,000	刑部支線3283号道改良工事 H28～	地元設計協議が完了し、用地測量ほか発注予定としていたが、H30.7月豪雨災害の対応に不測の日数を要したため、発注ができなかった。	用地測量、物件調査中。工期:R1.4.26～R1.9.30	終点付近における県道との取付協議、岡山道高架下におけるNEXCO西日本との道路管理者間協議、区域変更協議が必要。また墓地移転もあり丁寧な協議が必要。
									12,311	11,000	転落防止柵設置事業 H29～H33	防護柵468m設置	警察の指摘箇所を中心に計画的に防護柵設置を実施している。	警察の指摘箇所及び地元要望から危険箇所を把握し、防護柵を順次設置していく。事業費の確保が課題である。
									61,343	50,000	橋りょう点検・修繕計画・修繕 H28～	橋梁点検 193橋 橋梁長寿命化修繕計画策定 236橋	橋梁長寿命化修繕計画に基づき152橋の点検業務を実施中である。	市道橋810橋の定期的な点検を実施する。劣化箇所については修繕工事を順次行っていく。事業費の確保が課題である。

事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
横断歩道橋点検・修繕計画・修繕 H28～	6,229	-	横断歩道橋点検(清音駅構内歩道橋) 1橋	-	法定定期点検は5年毎であり、市内3橋の次期点検はR3～5年度である。劣化箇所については修繕工事を順次行っていく。事業費の確保が課題である。
シェッド(洞門)及びトンネル点検・修繕計画・修繕 H28～	-	9,000	-	市内で唯一シェッドが設置されている「滝の端草田本線」洞門の修繕工事を実施中である。	法定定期点検は5年毎であり、次期点検はR3年度である。劣化箇所については修繕工事を順次行っていく。事業費の確保が課題である。
舗装修繕計画・修繕 H28～	21,346	43,500	舗装修繕工事 5路線 延長1,073m	11路線(延長1,820m)のうち9路線(延長1,300m)を発注済。残り2路線(延長520m)についても順次実施していく。	路面の詳細調査に基づき長寿命化計画を策定し、適切な舗装修繕工事を実施する。事業費の確保が課題である。
道路付属物点検・修繕計画・修繕 H28～	-	-	-	-	-
法面点検・落石対策 H28～	-	-	-	-	-
住宅等耐震改修事業 H28～	2,980	2,100	耐震診断・補強計画 9件 住宅耐震改修工事 2件	総社市建築物耐震改修促進計画に基づき、戸建住宅等の所有者に対し耐震化のための啓発を進めている。 耐震診断・補強計画 3件 住宅耐震改修工事 0件	地震が少ない地域のため、市民の意識として耐震化の機運が高まっていない。
浸水対策事業 H28～H31 中原雨水幹線改修工事	18,935	15,000	井尻野・中原雨水幹線築造工事	井尻野・中原雨水幹線築造工事 L=45m	市街地の浸水防除のため、国庫補助及び単市により計画的に実施していく。
水質保全下水道事業 H28～	216,079	330,000	・富江汚水中継ポンプ場改築工事 ・中原・泉汚水中継ポンプ場施設設計業務 ・下水処理場・山手浄化センターネットワーク管理設工事	・下水処理場等基本設計業務 ・中原・泉・山手第1汚水中継ポンプ場改築工事 ・下水処理場・山手浄化センターネットワーク管理設工事	老朽化等による施設・機器の機能低下が著しいため、国庫補助により、計画的に改築更新を実施している。
未普及解消下水道事業 H28～	48,385	30,000	・井手地内汚水管理設工事 ・公共下水道に係る処理区域統廃合の基本検討に関する協定	井手地内汚水管理設工事 L=350m	国の方針(10年概成)等をふまえ、事業計画において公共下水道が未普及の地区について、順次汚水管を整備する。
東部水源系施設統廃合事業 H28～	243,851	603,290	・東部水源系更新設計(実施設計)及び送配水管測量設計(L=3,500m) ・総社・一宮バイパス配水管敷設工事(L=1,000m)	合併創設第2次変更認可に基づき、東部水源系施設の統廃合を実施	施設の統廃合に関して今後さらに事業費が増加するため、長期財政計画に基づいて事業を実施していく必要がある。
総社駅南地区土地区画整理事業 H28～H30	506,007	-	換地処分事務、土地区画整理登記、清算金事務を実施	-	清算金事務の分割納付、滞納整理が残る。
石綿セメント管更新事業 H28～H29	-	-	-	-	-
冠水標示板設置 H28～H29	-	-	-	-	-

【重点推進施策】

移住・定住促進

満足度 3.4(3.4→)

重要度 3.8(3.8→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○結婚を応援	3.0 (3.0→)	3.7 (3.8 ↓)	カップリングパーティー参加者のうちカップル成立数(累計)	11組 (平成26年度)	58組	67組	67組	70組	空き家対策事業 H29～	6,111	7,504	空き家バンクの運営、総社市空家等対策推進協議会の発足、空き家対策セミナーの開催	空き家バンク登録件数 43件、空き家対策セミナーを開催予定	空き家対策について、適正管理と利活用の両面から総合的かつ計画的に推進していく必要があるため、「空家等対策計画」の策定など関係各課と連携し、対応等を検討していくことが必要である。
○移住・定住を促進	3.1 (3.1→)	3.7 (3.8 ↓)	結婚活動事業参加者の成婚者数(累計)	0件 (平成26年度)	9人	9人	9人	20人	定住促進事業 H28～ H30～ お試し住宅	7,156	9,962	移住定住フェアへの参加(東京9回、名古屋1回、大阪4回)、定住促進助成金累計27件、そうじゃお試し住宅整備完了(H31から運用)	移住定住フェアへの参加(東京3回、名古屋1回、大阪2回、総社市単独イベント@東京2回)、定住促進助成金累計19件、そうじゃお試し住宅利用実績2組、予約中2組	首都圏で開催される移住フェアへの参加者は減少傾向にある状況を鑑み、費用対効果が十分に得られると考えられるフェア・イベントを精査し、的を絞ったPRRを行うことが必要である。
			移住相談等の施策により移住した件数(定住祝い金対象)(累計)	2件 (平成26年度)	25件	32件	34件	75件	住宅新築助成事業 H30～	4,000	18,000	事業認定件数 26件、助成金交付件数 7件	事業認定件数 7件(うち空き家解体助成1件)	市内の施工業者による新築が増加しているが、今後、立地適正化計画に基づく居住誘導区域との兼ね合いも検討する必要がある。
									婚活事業 H28～	287	200	カップリングパーティーを2回開催(カップリング累計9組)	イベントを企画中	イベントの内容を見直し、結婚に対する意識付けを行うセミナー等を開催するなど、人生プランや結婚観を育み、意識づけるような取組を行う。

【重点推進施策】

防災・消防

満足度

3.5(3.3↑)

重要度

4.2(4.0↑)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○東日本大震災から学び、災害に強いまちにする	3.3 (3.1↑)	4.5 (4.3↑)	自主防災組織率の向上	50.1% (H27.4.1)	96.8%	96.8%	97.2%	70%	防災行政無線(移動系)整備事業 H29 実施設計	9,072	-	実施設計を行った。	-	現在使用中の防災行政無線は、令和4年に電波法上、使用できなくなる。
○大震災時の支援拠点となる	3.3 (3.1↑)	4.4 (4.2↑)	防災啓発事業の実施	年2回 (平成26年度)	年22回	11回	27回	年20回	市民のための災害救助支援事業 H29～ 災害救助支援基金180,660千円	0	-	なし	実績なし	-
									大規模災害被災地支援事業 H28～	3,533	10,000	大阪府和泉市へ台風21号に伴う支援、北海道苫小牧市へ北海道胆振東部地震に伴う支援を行った。	新見市への大雨被害と千葉県君津市、東金市等への台風15号に伴う被災地支援を行った。	被災地が必要とする物資を迅速に届けたり、災害対策本部の支援を昨年の被災体験をもとに適切に実施できた。
									大規模災害被災地受入れ事業 H29～	0	10,000	なし	実績なし	-
									洪水・土砂災害ハザードマップ作成事業 H30～	0	5,940	なし	最新版の土砂災害特別警戒区域及び最大規模降雨(L2)の浸水想定区域を盛り込んで作成。	土砂災害特別警戒区域が全て公示されていないため、今後継続して更新の必要がある。
									小規模林道整備事業(林道黒田浅原峠線)	-	-	-	-	-
									長良排水機場改良事業	-	-	-	-	-
									秦地区排水対策事業 H29～	-	76,000	ポンプの基本設計および排水路整備を予定していたが、H30.7月豪雨災害の対応に不測の日数を要したため、業務および工事の発注ができなかった。	内水シミュレーションを行いポンプ能力を検討中である。 排水ポンプ詳細設計中 工期:R1.6.28～R1.11.29	地元、国交省、岡山県と十分な協議が必要。国の緊急対策の起債を活用するため事業期間が限られている。
									準用河川国府川改修事業 H28～	4,634	42,278	埋文調査、護岸詳細設計を実施したが、工事は繰越しすることになった。	施工延長 L=40.0m 幅員B=13.0m 工期:R1.5.30～R1.12.20	スイゲンゼミタナゴの生息調査や埋文調査、予算措置も影響して事業が長期化している。
									消防機庫新築事業 H28～	2,636	5,300	富山分団第1部消防機庫を新築した。	水内分団第1部消防機庫の撤去・新築を行うため、用地の測量及び隣地の地権者との協議を行っており、年度末までに完成予定。	老朽化した消防機庫が多数あり、更新計画等を検討する必要がある。
									小型動力ポンプ整備事業 H28～	4,968	3,000	久代分団第1部、新本分団第3部のポンプを更新した。 なお、豪雨災害時に水没により使用不能となった神在分団第4部、下倉分団第1部のポンプを更新した。	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、ポンプ2台(三須分団第4部、久代分団第3部)を更新予定。	購入後20年以上経過しているポンプが多数あり、整備計画等を検討する必要がある。
									小型動力ポンプ積載車整備事業 H30～	2,139	2,600	服部分団第3部の積載車を更新した。	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、積載車1台(山手分団第2部)を更新予定。	購入後20年以上経過している積載車が多数あり、整備計画等を検討する必要がある。
									消防車両整備事業 H28～	117,353	-	化学消防ポンプ自動車1台を更新した。 また、豪雨災害時に水没により使用不能となった消防ポンプ自動車1台を更新した。	-	化学消防ポンプ自動車の更新整備により、危険物火災等への対応を強化させることが出来た。 なお、消防車両の更新は、安全性、老朽度並びに稼働状況等の車歴を加味して総合的に考慮して計画を策定しているが、財源等の確保に苦慮している。
									防火水槽整備事業 H28～	7,585	9,500	既設防火水槽について、漏水改修及び有蓋化1箇所(八代)、漏水修繕3箇所(真壁、長良、美袋)、有蓋化修繕1箇所(総社)を行った。	既設防火水槽の漏水改修及び有蓋化4箇所(中原、上林、秦、山田)、有蓋化1箇所(久代)を予定。	既設防火水槽のうち、30年以上経過しているものが約70%を占めている。 老朽化による漏水対策及び有蓋化が必要な防火水槽が20箇所あり、引き続き計画的に改修していく必要がある。
									水道消火栓整備事業 H28～	2,596	3,600	国道180号線バイパスに消火栓1箇所を新設し、既設消火栓5箇所を改修した。	国道180号線バイパスに消火栓2箇所を新設予定。また、既設消火栓6箇所を改修予定。	老朽化に伴う改修を引き続き進めていく必要がある。
									災害時における備蓄品購入 H29	-	-	-	-	-
									AED設置事業 H29 消防から遠方コンビニ(山手、清音、池田、服部)	-	-	-	-	-
									AEDマップ作成事業 H29	-	-	-	-	-

【基本目標 2】 だれもが安心して働きたくなる総社

満足度

3.2(3.2→)

重要度

4.0(4.1↓)

[総所得金額] 当初値:805億円/年 ⇒ H28確定値:821億円/年 H29確定値:839億円/年 H30確定値:862億円/年(R1現況値:879億円/年) ⇒ R2目標値:840億円/年

【重点推進施策】

雇用

満足度

3.2(3.2→)

重要度

4.2(4.2→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)					事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値						
○労働者を増やす	3.2 (3.1↑)	4.1 (4.1→)	市内事業所の従業者数	23,392人 (平成24年)	23,110人 (平成28年)	経済センサス平成28年度調査が最新		25,000人	17,499	18,637	センター支援実績 H29年度からの累計で実相談人数195人、社会参加は19人。居場所「ほっとタッチ」運営。ひきこもりサポーター養成講座等実施。	センター相談、ほっとタッチを継続運営。実相談者数はH29年度からの累計で216人、社会参加は27人(いずれも7月末)。8/26には全国初となるひきこもりサミットを開催。県内外から約700人が参加。	支援体制の強化のためのサポーターの養成、フォローアップ、居場所の増設、当事者の人数の把握などが課題。
○様々な働き方を応援する	3.1 (3.0↑)	4.1 (4.1→)	総社市・高梁市連携事業合同就職面接会参加者	-	0人	44人	78人	250人	22,362	26,391	障がい者の雇用促進と就労の安定化を目指し、障がい者千五百人雇用センターによる就労及び生活の支援体制を強化し、新規就労先の開拓や職場定着のさらなる推進などの拡充を図るとともに障がい者のライフステージを通じた支援を図った。	障がい者就労者数1,500人を目指し、これまでの取組みを深化・発展させるとともに、「就学期から就労への移行体制の構築」や「工賃向上・生活の質の向上」、「終の棲家等の問題」等についても検討している。	行政目標の「千五百人雇用」から当事者目標の「生きがい」として、障がいのある方1人ひとりが、安心して「労働の楽しみ」「個性に応じた社会貢献」を実感できる就労・生活支援を目指している。今後とも、いかに自立を促進していくかが課題である。
○障がい者の自立を応援	3.3 (3.2↑)	4.1 (4.0↑)							2,253	4,105	生涯現役のまちづくり H28～ 平成28年10月のそうじゃ60歳からの人生設計所開所以来、252人の方が就職、創業、ボランティアに繋がっている。(内訳:就職者 216人、ボランティア 36人)	各種セミナーを継続実施している。	生涯現役促進事業は本年度末で国からの委託事業が終了となるため、協議会を継続した上で、総社市社会福祉協議会、ハローワーク総社、シルバー人材センター、総社市との連携を一層、強化しつつ、現在、総社市社会福祉協議会内に設置しているワンストップ相談窓口(そうじゃ60歳からの人生設計所)を、令和2年4月から、シルバー人材センター内に設置し、高齢者の生きがいづくり、就労支援サポートを行う方針としている。
○発達障がい者の自立を支援	3.2 (3.1↑)	4.1 (4.0↑)											
○「ひきこもり」の状況にある人の自立を支援	3.0 (3.1↓)	4.0 (3.9↑)											
○若者の地元就職を推進	3.0 (3.0→)	4.1 (4.1→)											
○生涯現役を目指した高齢者を応援する	3.1 (3.1→)	4.0 (4.0→)											

【重点推進施策】

農林業

満足度

3.1(3.1→)

重要度

3.9(3.9→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値							R2目標値
○地食べ事業を核とした儲かる農業の推進	3.2 (3.2→)	4.0 (4.0→)	ふるさと納税による市内産米の消費量拡大	-	21,025俵 (平成29年度)	26,602俵 (平成30年度)	1,960俵 (R1.9.17時点)	20,000俵	ふるさと納税関連事業 H28~	1,059,804	722,353	全国に向けて市内産米をはじめとする特産品のPRができた。	ふるさと納税制度改正に伴い、返礼率及び返礼品の見直しを行ったことにより申込が激減している。	市内産米申込拡大を図るための施策、その他返礼品開発、寄附者とのつながりを持続するための施策を検討する必要がある。
			○優良農地の確保	3.1 (3.1→)	3.8 (3.9↓)	営農組合の新たな組織化・法人化	-	2組織	2組織	2組織	3組織	セロリ産地復活支援事業 H30~	5,107	280
			学校給食における総社産野菜の利用率			36.9% (平成26年度)	30.7% (平成29年度)	39.1% (平成30年度)	42.8% (R元.1学期)	40%	健康特産品開発事業 H30~H31	128	1,000	そうじゃ地食べ公社のセロリを使った新商品のサンプルを作成。
			荒唐農地の面積	63.8ha (平成26年度)	94ha	48ha	-	維持	岡山ハイブリッドメガ生産団地整備事業 H29~ 久代・黒尾・小寺地区	49,064	35,600	久代地区の農地造成工事が完了。また黒尾地区の農地造成工事の一部着工。	久代地区の換地業務、黒尾地区の造成工事をR1年度中に完了予定。	基盤整備完了後は、園芸振興の単県補助を活用し、防蟻灯や防風ネット等の資材を整備していく予定。
									担い手育成支援事業 H28~	11,567	17,275	実務研修や経営開始した新規就農者への支援を行うことにより産地の担い手を確保する。	今年度新たに5人の担い手が新規就農した。	高齢化が進む農業分野において、担い手確保・支援は重要な課題であり、継続的な支援が必要である。
									農地利用集積推進事業 H28~	2,044	2,800	4月、12月の年2回で678件の契約を成立。	今年度契約の終期が到来する契約を中心に、流動化推進に地域のマッチングの掘り起こしをしてもらい、契約成立を目指す。	農地流動化により高齢化に起因する耕作放棄地の発生抑制につながっているが、地域の担い手の高齢化も進んでいることから、将来は農地中間管理機構の活用も含めた対策を検討していく必要がある。
									有害鳥獣対策事業 H28~	9,393	12,145	有害捕獲はイノシシ331頭、シカ9頭、サル16頭、ヌートリア18頭。猟期捕獲はイノシシ343頭、シカ4頭。	猟友会駆除班に有害捕獲を、また11月から3月の猟期に陽童会会員に猟期捕獲をしてもらい、有害鳥獣の個体抑制を図る。	近年イノシシに加え、シカやサルによる農業被害が増えてきている。引き続き捕獲・駆除を強化・実施していく必要がある。
									久代地区ほ場整備事業 H32~	-	-	-	-	-
									~H28 地産地消推進事業 そうじゃ地食べ公社地産地消推進事業	-	-	-	-	-

【重点推進施策】

商工業・物流

満足度

3.3(3.3→)

重要度

4.1(4.1→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値							R2目標値
○市内企業・事業所との連携	3.2 (3.1↑)	3.8 (3.9↓)	従業員数50名以上の企業誘致	-	1社	0社	0社	3社	高梁市連携事業負担金(雇用促進) H28~	100	200	パート・アルバイト就職フェアを両市で開催 ・参加企業数30社 ・参加者数 総社市28人 高梁市16人	会社説明・就職面接会(正規・非正規)を両市で開催 ・参加企業数30社 ・参加者数 総社市47人 高梁市31人	企業において人手不足は深刻であり、就職面接会の開催希望は多い。開催した面接会では求職者は、居住地近くの就業を求めため、開催地ごとで、訪れる企業ブースに偏りがある。今後の開催について協議が必要であると思われる。
○拠点整備を支援する	3.1 (3.1→)	3.9 (3.9→)	市内事業所数	2,052事業所 (平成28年)	-	経済センサス平成28年調査が最新	2,100事業所以上	大規模工場等立地促進補助金 H28~H31 株式会社モンテール H32~ 岡山指月株式会社	35,980	35,980	(株)モンテールへの補助を実施	(株)モンテールへの補助を実施予定	(株)モンテールへの補助はH31年度で終了し、R2年度から岡山指月(株)への補助を実施する予定。	
									【再掲】ふるさと納税関連事業 ※農林業へ掲載	-	722,353	-	-	-
									H28 企業立地促進補助金 大黒天物産株式会社(中国物流RMセンター)	-	-	-	-	-
									そうじゃ商人(あきんど)応援事業補助金	-	-	-	-	-

【基本目標 3】 だれもが安心して学びたくなる総社

満足度 3.4(3.3↑)

重要度 4.1(4.1→)

[年少人口(0~14歳)数] 当初値:約9,823人 ⇒ H29確定値:9,693人 H30確定値:9,683人(R1現況値:9,665人) ⇒ R2目標値:10,000人超

【重点推進施策】 学校・幼児教育

満足度 3.4(3.3↑)

重要度 4.3(4.3→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○「心」を重視した教育	3.2 (3.1↑)	4.3 (4.2↑)	地域の特色やニーズにあった特区の新設	1区 (平成27年度)	3区	3区	3区	3区	学校自由枠交付金事業 H28~	43,300	43,300	学校自由枠交付金の交付	学校自由枠交付金を活用し、各学校が独自性や特色ある教育活動の推進に取り組んでいる。	学校力向上のため、学校自由枠交付金を交付し、各学校が独自性や特色ある教育活動の推進に向けて取り組んでおり、今後も学校と事務局が連携し、制度の向上を図ることが求められる。
○だれもが行きたくなる学校づくり	3.2 (3.1↑)	4.2 (4.2→)	不登校出現率(不登校の子どもの割合)	小学校0.43% 中学校1.97% (平成26年度)	小学校0.45% 中学校2.22%	小学校0.64% 中学校1.65%	小学校0.32% 中学校1.85%	小学校0.3%以下 中学校1.7%以下	総社小学校改築事業 H28~H31	1,551,506	364,698	総社小学校Ⅰ期工事 総社小学校Ⅱ期工事	総社小学校Ⅱ期工事中	児童が学校生活を送っている中での工事となるため、児童の安全に十分配慮する必要がある。
○特別な支援が必要な子どもたちを支援	3.2 (3.1↑)	4.2 (4.2→)	昭和地区等英語教育特区への地区外から通園通学する児童生徒数(幼小中)	47人	104人	100人	81人 (R1.9.30)	100人	給食調理場新設事業 H28~H31	865,557	1,744,521	給食センター建設工事 造成工事	R1.7.31 給食センター完成 旧共同調理場の解体工事準備中	給食センターはR1.7.31に完成し、給食提供を行っている。 旧調理場2箇所の解体が必要である。
○特色ある学校づくり	3.2 (3.1↑)	4.0 (4.0→)							だれもが行きたくなる学校づくり H28~	6,195	6,287	市内すべての保育所・幼稚園・小・中学校で社会性と衝動のついて研修・実践した。	今までの研修・実績の蓄積を継承している。	今まで行った研修などを基に精査・発展する。
○世界へはばたく特区教育を	3.2 (3.1↑)	3.8 (3.8→)							発達障がい支援事業「特別支援教育推進センター きらり」 H28~	15,004	20,394	障がい児教育や支援学級、特別支援教育の充実を図った。	ほかの学区からの受入れもしている。学校どうしの連携が必要	一人ひとりの状態に合わせて、丁寧に関わる必要がある。
									学校力向上教員加配事業 H28~ H30 日本人英語指導員等全学区配置	121,174	143,728	学校に適應するため、各学校の課題に応じて教員を加配する。	人材不足もあって、全配置ができていない。	児童・生徒一人ひとりの状態に応じた対応が必要。
									昭和地区等英語教育推進事業 H28~	42,615	50,010	対象の幼・小・中学校が連携し一貫性のある特色を生かした特別な英語、体育、音楽などの教育を行った。	転入・転出については横ばいである。英語を聞く力は身につけている。	英語コミュニケーション能力が上がった。更なる支援が必要。
									小学校 普通教室エアコン設置事業 H28~H29	-	-	-	-	-
									H28 維新幼稚園耐震補強設計業務	-	-	-	-	-

【重点推進施策】 家庭教育

満足度 3.3(3.2↑)

重要度 4.1(4.1→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○家庭教育	3.1 (3.1→)	4.0 (4.0→)	高校進学を希望するワンステップ受講者の進学率	-	91.7%	100%	-	100%	生活困窮者自立支援事業 H28~ H29 小学4年生以上に対象拡大 H31 小学1年生以上に対象拡大	25,963	26,625	中学3年生4人中4人が高校進学、高校3年生は浪人	7月末で 小学生4人、中学生13人、高校性12人参加	講師である年齢の近い大学生に進路等の相談もできるため、参加の学問の場だけでなく居場所としても確立している。
○学習を応援	3.1 (3.1→)	3.9 (3.9→)	学校運営協議会の設置数	-	0校	5校	5校	7校以上						

【重点推進施策】

スポーツ・文化・生涯学習

満足度

3.4(3.3↑)

重要度

4.0(3.9↑)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値						
○スポーツを楽しむ	3.3 (3.2↑)	3.8 (3.9↓)	体育施設の利用者数(延べ)	520,000人 (平成26年度)	533,561人 (平成29年度)	481,209人 (平成30年度)	264,003人 (令和元年8月末現在)	600,000人	80,291	25,300	H29年度からの繰越事業である工事及び仮設トイレ等の購入が完了し、芝張りも5月の3日間を利用し、延べ約1,000人のボランティアによって実施できた。しかし、7月豪雨により拡張部分の芝が全て流されるという災害に遭った。	災害復旧工事として、出水期明けの10月25日以降、早急に工事着手できるよう調整を行っている。	令和2年4月からの利用に向け、年度内に工事が完了するよう進捗管理を徹底することが必要である。
○貴重な文化財を守り、文化芸術を身近に	3.3 (3.3→)	3.8 (3.9↓)	吉備路文化館の来場者数(延べ)	8,800人 (平成26年度)	6,158人 (平成29年度)	7,657人 (平成30年度)	4,240人	10,000人	—	2,984	—	2020東京パラリンピックのホストタウンとして、イラン・イスラム共和国の柔道チームを誘致する方向で交渉を行っている。(令和元年9月末現在)	イスラム教の生活・環境・文化を理解したうえでイラン側と接することが求められる。
○生涯学ぶ	3.2 (3.2→)	3.8 (3.8→)											
									7,000	2,000	第4回芸術祭に向け準備を進める	第4回芸術祭では市民会館を装飾して美術館を体験することにより、文化都市「総社の力」を感じていただいた。	文化館・ギャラリーのさらなる活用推進とリーダーシップをとる人材の育成が必要。
									3,000	3,000	10～12月「森コレクション展Ⅱ 華麗なる版画の世界」来場者1,753人 1～3月「総社ゆかりの作品展」来場者1,224人	開館5周年記念ザ・コレクション展(前期日程)を開催中。 11月開催の後期日程に向け準備中。	市内外への一層の周知が必要
									1,000	1,000	H30年度の出場者137人入場者779人であり毎年レベルアップしている。	令和元年12月22日の第九コンサートにむけて準備を進めている。	男声合唱団員の確保・パート別指導者の確保が必要。
									2,722	2,240	大坑古墳の確認調査を実施した。	大坑古墳の残りの部分について確認調査を行う予定	現在一丁坑古墳1～4号墳が県史跡であるが、残りの古墳群の調査を計画的に進め、全体の県史跡指定を目指す
									333,373	250,060	雪舟生誕地公園の用地の買戻しを行い、公園基本設計、実施設計を業者へ委託した。	公園内建築物の設計業務を業者へ委託している。また、総社市雪舟生誕地公園条例が令和元年10月臨時総社市議会で可決された。	令和2年9月末の公園完成に向け、議会や関係者と連携しながら、遅延なく事業を進めていく必要がある。
									100,696	120,000	総社市文化芸術会議を5回実施。教育委員会へ答申を提出した。	答申を受け、本市に相応しい施設のあり方や実施時期を検討。	他の大規模事業との兼ね合いを考えたうえで、長期的な視野をもって本市に相応しい美術博物館の設置を検討していく必要がある。
									138,979	—	平成30年10月に完成し、自主講座及び貸館業務を開始した。	本年度から14講座を開始した。	地域の状況に応じて、生活に即した教育、学術及び文化に関する事業を行っていくことが必要である。
									—	449	—	分館の移転新築に向けて地元協議を行っている。	県の事業認定を受け、新築工事まで用地買収及び土地造成工事等を必要とする。
									—	—	—	—	—

【基本目標 4】 だれもが安心して訪れたい総社

満足度

3.2(3.2→)

重要度

4.0(4.0→)

[滞在人口] 当初値:平日47,085人,休日49,359人 ⇒ H29.4確定値:平日49,273人,休日50,226人 H30.4確定値:平日49,545人,休日50,435人(R1現況値:未公表) ⇒ H32目標値:48,000人,休日50,000人

【重点推進施策】 観光

満足度

3.2(3.1↑)

重要度

4.0(4.0→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○全国屈指のマラソン大会	3.7 (3.8↓)	3.8 (3.8→)	観光客数	80万人 (平成26年度)	77万5千人 (平成29年度)	75万4千人 (平成30年)	37万6千人 (6月末現在)	100万人	そうじゃ吉備路マラソン H28~	24,521	24,743	2019大会は、平成30年7月豪雨災害・北海道胆振東部地震復興支援チャリティ大会として実施。全国43都道府県から22,334人のエントリーがあり、全国7位の規模の大会となっている。	2019大会で、初めて心肺停止のランナーが発生し、救命処置により一命は取り留めたが、二度と事故発生を起さないよう、救護体制を強化することを第一に、11月ランナー募集に向けて準備を行っている。	大会の満足度アップのため、ランナーの安全第一をはじめ、ボランティアや応援者の暖かいおもてなしを持って運営をすることが求められている。
○観光用の2次交通整備	3.0 (3.0→)	3.9 (4.0↓)	そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度	70.5点 (2015大会実績)	75.02点 (2018大会実績)	72.25点 (2019大会実績)	(R2.2.24開催予定)	80点	総社観光プロジェクト提案事業 H28~	14,150	12,000	赤米フェスタ来場者約1,500名 総社観光学堂26名受講 あかりおひろい4回実施	赤米フェスタ来場者約2,000名 総社観光学堂25名受講予定	具現化可能なもの、時代のニーズに適したのものなど、提言内容を精査しながら実施する必要がある。
○さらなる観光客・訪問客の増加	3.0 (3.0→)	3.8 (3.9↓)							高梁市との観光連携事業 H28~	127	300	高梁市との連携観光バスツアーの実施(参加者15名)	ポネットバスが使用できなくなったため事業内容について検討が必要。	参加者に満足していただける観光素材の提供を目指す。
									高梁川流域観光振興協議会負担金 H28~	528	528	観光プロモーション事業 4件選定 流域インバウンド推進事業(台湾のメディアの招聘事業)	観光キャンペーン事業やFAMツアーを実施予定	高梁川流域の地域性を生かし体験型観光の醸成を図る。
									観光用二次交通整備 H28~	—	—	—	—	—
									日本遺産(「桃太郎伝説」の生まれたまち)事業 H30~H32	8,767	6,890	4市で協議会を創設し、webサイトやポスター等各種PR媒体の作成や学習まんがの制作を行った。	協議会の事業として、情報発信等、普及啓発事業を展開	今後、日本遺産の構成文化財を活用した地域活性化への取り組みが必要。
									砂川公園施設改修事業 H30	0	—	地元関係者及び河川管理者との協議調整に不測の日数を要したためR1年度へ繰越	地元関係者及び河川管理者との協議継続中	ウォータースライダーの水不足の問題について、地元との調整が難航している。

【重点推進施策】 都市・社会基盤

満足度

3.1(3.0↑)

重要度

4.0(4.0→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○岡山県立大学周辺を東の玄関口に	3.0 (2.9↑)	3.5 (3.6↓)	県立大学生の総社市居住率	45% (H27.5現在)	50% (H29.5現在)	49% (H30.5現在)	50.1% (R1.5現在)	55%	県大周辺まちづくり事業 H30~	0	7,040	繰越事業	県大周辺にまちづくりするため市街化編入、農政局協議が必要だが、農政局協議が難航。引き続き農政局と協議中。	①法令上の問題である農政局協議が難航。②具体的な現地のまちづくり手法について、検討が必要。③事業実施時には今後、地域住民や地権者同意が必要。
			宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	1,489ha	(都市計画基礎調査後に 数値確定)		1,505ha	中央井手本線外1線改良事業 H28~R6	9,500	124,117	施工延長 L=112.0m W=6.0(16.0)m	施工延長 L=306.0m、W=6.0(16.0)m 工期: R1.9.~R2.3.31	交付金配分が厳しいため事業進捗に影響を及ぼしている。 元町井手本線の地元設計協議を進めていく必要がある。
									高松田中西阿曾線改良事業 H29~H32	41,537	195,973	施工延長 L=197.4m W=6.0~6.5m	橋りょう下部工、道路工の発注準備中	橋りょう下部工及び道路工の発注に向けて、国交省、交通規制課、岡山市と最終設計協議が必要。
									立地適正化計画策定事業 H28~H30	1,447	—	総社市立地適正化計画(素案)の作成	立地適正化計画策定委員会や県協議を重ね、素案を作成した。今後、都市計画審議会、パブリックコメント、議案上程などの手続きをえて計画の公表を予定。	岡山県立大学周辺の市街化編入に向け、引き続き農振農用地解除に関する農政局との協議を行う。
									真壁支線3156号道改良事業 H28~H30	4,494	52,500	文化財調査を実施	道路築造(L=263.1m、W=7.5m)を施工中	R1末で完了予定
									トイレピカピカ大作戦 H28~H30	907	—	文化筋公園(まちかどの泉)のトイレ改築について、設計業務完了。工事にも着手したが、西日本豪雨災害の影響で、年度内完成には至らず、R1年度へ繰越を行った。	H31.4.26に文化筋公園(まちかどの泉)トイレ改築済	改築が必要な都市公園が多数残っている。

【重点推進施策】

自然・環境

満足度

3.4(3.4→)

重要度

4.2(4.1↑)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○「赤米」を日本遺産登録へ	3.2 (3.2→)	3.3 (3.3→)	日本遺産登録件数	0件	0件	1件	1件	1件以上	住宅用スマートエネルギー導入促進補助事業 H29～	4,450	4,500	住宅用スマートエネルギー導入促進補助金31件	住宅用スマートエネルギー入促進補助金61件申請 今後、抽選会を予定	省エネルギー設備を備えた住宅の新築・改修等が増える中、十分な予算の確保が必要
○豊かな自然を大切に	3.2 (3.2→)	3.9 (3.9→)	環境教育・学習参加者数(延べ)	214人 (平成26年度実績)	356人	211人	191人	320人	北の吉備路やヒイゴ池湿地などにおける自然保護活動 県立自然公園の景観整備・保全 環境教育の推進 H28～	4,988	5,270	除草や標識・看板等の維持・補修作業の実施 自然保護観察会や自然保護講演会等の実施 (参加者数:73人)	総社ふるさと自然のみちの遊歩道や見本園、ヒイゴ池湿地、県有地(鬼ノ城・吉備路風土記の丘県立自然公園)内の除草・維持補修の実施 自然保護観察会を定期的に関催、自然学校などを実施し自然保護の啓発を図っている。	施設・自然環境に精通した委託先団体構成員の高齢化

【基本目標 5】 だれもが安心して集いたくなる総社

満足度 3.2(3.1↑)

重要度 3.9(3.8↑)

[総社市に愛着を感じている人の割合(アンケート)] 当初値:75.2% ⇒ H29確定値:74.4% H30確定値:73.5% R1確定値:76.7% ⇒ H32目標値:85%

【重点推進施策】 市民参加

満足度 3.2(3.2→)

重要度 3.8(3.8→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○地域課題を解決し、独自性ある地域を創る	3.2 (3.1↑)	3.6 (3.7↓)	市民提案型事業への応募数 件数	9件 (H26.27実績)	20件 (H29年度応募数)	14件 (H30年度応募数)	14件 (R1年度応募数)	30件	若者人材育成事業 H29~	388	639	そうじゃ若者塾第1期生が2年間の活動を修了第2期生(5名)活動開始	そうじゃ若者塾第2期生を追加募集(7名)	行政主体の受身の講座で終わらないように、受講内容の工夫をする。
○女性が活躍する	3.1 (3.1→)	3.8 (3.8→)	多文化共生イベントへの来場者数	1,300人 (平成26年度実績)	1,500人	2,000人	2,000人	2,000人	地域づくり自由枠交付金 H28~ H29~ 自主防災組織加算 H30~ 地域力アップ加算	75,801	82,856	各協議会で特色ある事業を実施。防犯灯設置(LED化含む)については、全協議会で取り組みが推進されている。	平成31年度交付額 78,024千円	交付金額の拡大により、各協議会長や事務局等への負担が懸念される。
○外国人と共生する	3.1 (3.1→)	3.6 (3.5↑)	小児医療費決算額	2億5,232万円 (平成26年度決算)	2億5,488万円 (平成29年度決算)	2億6,531万円 (平成30年度決算)	-	2億5000万円未済	市民提案型事業 H28~	3,775	4,000	市内8の採択団体によって福祉、地域活性化、文化財保存など様々な分野における事業が、実施された。	平成31年度では、9団体を採択している。	申し込み団体の数は横ばい傾向であるが、審議会委員から若年層の団体からの募集拡大を望む声がある。
○みんなで考え取り組む	3.3 (3.2↑)	4.0 (4.0→)	ごみ減量化推進団体資源回収量	1,509t (平成26年度)	1,230t	1,190t	23t	1,800t	多文化共生事業 H28~ H30~ ベトナム語対応	3,055	7,322	多文化共生推進員による通訳・翻訳業務、復興インターナショナルフェスタ(11/24)により、各国の文化紹介等の国際交流を実施。	平成31年4月からベトナム人の多文化共生推進員を雇用し、通訳・翻訳業務を実施。駐日ベトナム大使訪問によるベトナムフェスタ(5/18)を開催。インターナショナルフェスタ(10/12)を開催予定。	外国人住民の増加により窓口相談や通訳業務が増加している。特にベトナム人の増加が著しいため、ベトナム人多文化共生推進員の雇用継続と相談窓口の整備が必要。
									日本語教育事業 H28~	1,321	1,351	日本語教室、サポーター育成研修開講などの日本語教育事業を行い、外国人と日本人との「顔の見える関係づくり」を図った。	文化庁の委託事業が平成30年度で打ち切りとなったため、平成31年度からは単市予算での実施となっている。日本語教室を年間30回を実施するほか、新たに暮らし方教室を年間10回実施する予定。	文化庁の委託事業が平成30年度で打ち切りとなったため、平成31年度からは単市予算での実施となっている。事業の内容を精査しながら、今後も継続した事業推進が必要。
									ごみ減量化推進団体報奨金 H28~	9,522	12,000	113団体に交付		
								EMIほかし配布事業 H28~	1,068	1,071	15,177個を配布	8月末現在 3,606個を配布	ごみ処理コストの削減に寄与している。今後も、出前講座、広報等PR活動が必要。	

【重点推進施策】 広域連携

満足度 3.2(3.1↑)

重要度 3.9(3.8↑)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)						事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値	R2目標値						
○広域で連携する	3.2 (3.1↑)	3.8 (3.7↑)	市役所での大学生インターンシップ受入れ人数	31人 (H27度申込者数)	49人	46人	42人	60人	【再掲】高梁市連携事業負担金(雇用促進) ※ 商工業・物流へ掲載					
○大学との連携	3.2 (3.1↑)	3.6 (3.6→)	総社市・高梁市連携事業バスツアー参加者	40人/年 (H27度申込者数)	26人/年	15人/年	未実施	60人/年	【再掲】高梁市との観光連携事業 ※ 観光へ掲載					
○地元金融機関との連携	3.1 (3.1→)	3.6 (3.6→)							【再掲】高梁川流域観光振興協議会負担金 ※ 観光へ掲載					

【重点推進施策】 市役所

満足度 3.2(3.0↑)

重要度 3.8(3.9↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H30決算額	H31予算額	H30 主要成果	R1 現状	評価・課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H29確定値	H30確定値	R1現況値							R2目標値
○行財政改革	3.1 (3.0↑)	3.9 (3.9→)	個人番号カードの普及(累計)	-	9.7%	10.8%	11.2% (R1.8.31現在)	70%(5年累計)	総合計画等評価・検証事業 H28~	276	734	平成30年7月豪雨災害を受け、復興計画を加えた「復興増補版」を発行した。	R1.10.25 審議会開催	前期計画の後半に入り、現状に即した計画となるよう引き続きPDCAを行っていく。
○ファンリテイマネジメントの実施	3.1 (3.0↑)	3.7 (3.8↓)	市債の借入額	-	普通会計 ベース 93.0%	普通会計 ベース 107.6%	-	5年間平均で元金償還額の95%以下に抑制	新庁舎建設事業 H31~	-	511	-	基本計画策定及び基本設計業務プロポーザルを実施し、現在、基本計画の策定に向けて準備を進めている。	合併特例債期限である令和6年度までに建設を行う必要がある。
○職員の意識改革	3.0 (2.8↑)	4.0 (4.1↓)							コンビニ収納・交付導入事業 H30収納 H31交付	コンビニ収納導入事業 25,767	コンビニ交付導入事業 33,285	コンビニ収納導入事業について、導入に必要な全工程をスムーズに完了し、コンビニ収納のH31.4.1運用を開始した。	マイナンバーカードを利用して住民票の写しや印鑑登録証明書等をコンビニで取得できるサービスを提供するためシステムの構築を進めている。	コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要。市民の利便性の向上を図るとともに、マイナンバーカードの普及率の向上を図る。
									人材育成・意識改革事業 H30~	7,239	12,939	・市町村アカデミー等各種研修への参加 ・意識改革研修(計4回) ・人材育成研修の実施	昨年度実施できなかった外部講師を招いての研修を実施予定(タイムマネジメント、働き方改革など)	より効果が上がるよう、職員の研修ニーズを把握することが必要。
									市営住宅整備事業 H28~ バリアフリー化	1,620	6,000	・市営浅尾住宅の33戸に手摺り設置	浅尾住宅への手摺り設置を予定していたが、昨年度ですべて完了した。その他の市営住宅は入居者のニーズに合わせてその都度設置する予定	施設の老朽化も著しいことから、全体的なバランスや入居者のニーズを考慮し、小規模できめ細やかに対応していく。
									地方公営企業法適用化に向けた整備 H29~H31 公共下水道・農業集落排水	39,198	27,835	・固定資産調査・評価業務 ・支援業務(科目の作成、研修会の実施等) ・システム構築	資産評価等による財務諸表の作成、例規の整備、システムの導入、また、関係機関との調整を実施。	R2年度からの稼働に向け、最終調整を行っていく。
									昭和福祉センター解体工事 H29	-	-	-	-	-
									~H28 一般廃棄物処分場 水処理施設等建設工事	-	-	-	-	-